KOUTOKU　コミュニティ・スクール（学校運営協議会）通信④

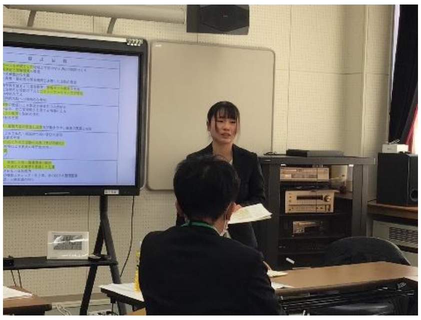
令和８年３月13日　発行　教務部

３月９日（月）、委員６名、大学生２名、教員９名が参加し、コミュニティ・スクール（ＣＳ）の５回目の会議を実施しました。校長から今年度の学校評価について説明の後、委員からご意見をいただきました。次年度方針の重点項目として挙げられた「コミュニティ・スクールを中核とした地域と学校の win-win の関係づくり」や「学びの般化」「情報発信」「心のケア」「コミュニケーション力の育成」「行事の精選」等について、参加者が２グループに分かれて、熟議をしました。「情報発信」の面では、教職員が目的意識をもって発信することの大切さを確認しました。最後に、副委員長からは、協議会で熟議をしたことを具体的に行動に移す「地域学校協働活動」が課題として挙げられました。

試行錯誤しながらのコミュニティ・スクール１年目でしたが、生徒が自分で意見を出して学校を動かすという経験ができたことは大きな成果で、光陽祭を通して生徒の夢や希望を実現するという目的は達成できたように感じます。次年度も、コミュニティ・スクールのさらなる発展に尽力してまいります。

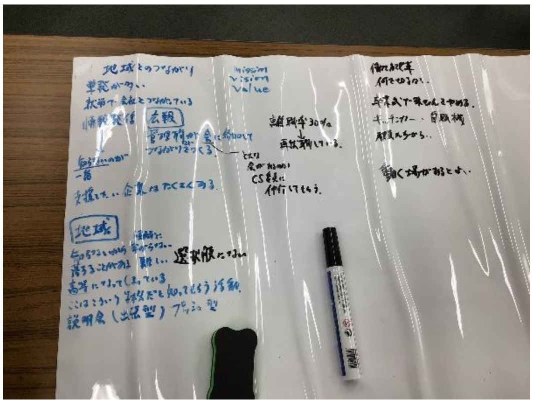
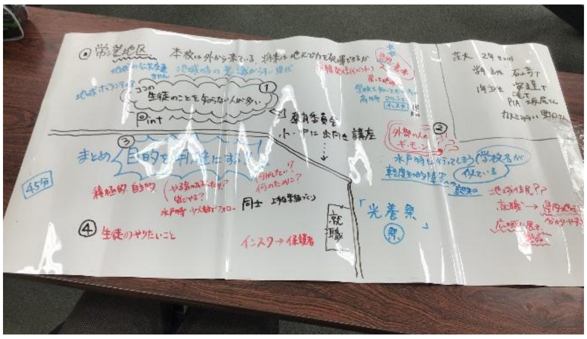
委員長挨拶　　　　校長からの学校評価の説明

２グループに分かれて、課題について熟議しました。



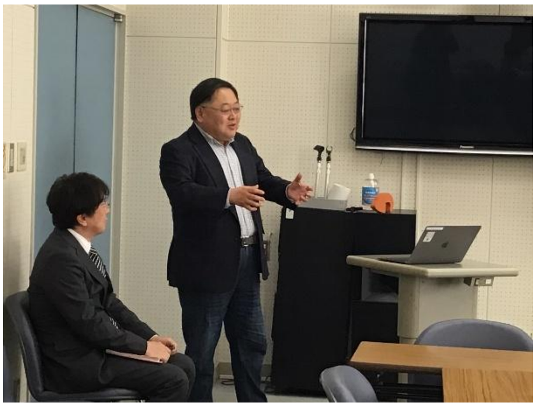
今回も大学生がファシリテーター役を担当してくれています。

【熟議の様子】

（内容）

・地域が学校の存在を知らない。インスタをやっているのも知られていない。
・中学校や中学生も本校の存在を知らないので、進路先の選択肢に挙がらない。
・もっと学校のＰＲを！→メディアやＳＮＳの活用。出張型の説明会。
・ＣＳが生徒の夢や希望を実現する場になったことは今年度の大成果。



１年間の取り組みを総括する石井委員長

CS の運営に尽力いただいた塚本副委員長